

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

学校名【 福島県立視覚支援学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	小学部（1名） 中学部（8名） 高等部（12名） 保護者（3名） 教職員
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	本校の卒業生であるパラリンピアン及びパラリンピック候補選手と触れ合い、2020東京パラリンピックやスポーツへの興味関心を高める。また、同じ障害をもつ憧れの先輩と一緒に活動することで、イメージを湧かせスポーツを楽しむ心の育成を図る。
5 取組内容	1 事前学習ならびに質問募集 2 実技指導（陸上競技） 3 質問コーナー 4 事後学習ならびにアンケート調査
	   

6 主な成果	<p>昨年度に引き続き、講師が本校卒業生であったため、児童生徒は終始笑顔で活動に見通しをもち、スポーツに対する興味関心を高めることができた。また、講師の卒業生1名がドバイ開催の世界パラ陸上競技で4位になり、東京パラリンピック陸上競技内定となったことを伝えると大きな称賛があり、パラリンピックがより身近なものとなった。児童生徒は、目の前での実演を見たり聞いたり感じたりすることや丁寧な実技指導により、自分のボディイメージを湧かせながら笑顔で運動を実施することができた。</p> <p>本研究を通して、昨年度のスポーツのアンケートでは、「好き」が39%、「普通」が50%であったが、今年度は「好き」が88%で「普通」が12%「嫌い」が0%となった。これらのことから、スポーツを楽しむ心が育成されたと考える。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • 努力し活躍している本校の卒業生を2年連続で招いたこと • 専門的な実技指導を中心としたこと • 質問を事前に募集したこと • アンケート調査をしたこと
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 予算内での講師依頼と日程調整 • 講師との事前打合せ
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 体育や先輩の話を聞く会等で実施